

# 第 5 学年 体育 科学 学習 指導 計画

5年1組 指導者 紀 村 修 一

15M (5時間) **が本時**

学習活動	子どもの意識
<b>第1次 いろいろな体の動きを高める運動に取り組む</b> <span style="float: right;"><b>6M (2時間)</b></span>	
<b>学習内容</b> ・体の動きを高める運動の行い方 (知) ・体の動きを高める運動への関心 (態)	
<p>□体の柔らかさ、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動に取り組む (3M)</p> <p>□巧みな動きを高めるための運動に取り組む (3M)</p>	<p>・今日から体の動きを高める運動の学習をするのだね。楽しみだな。まずは、体の柔らかさを高めるための運動をしよう。体が棒に触れないように通り抜ける「リンボーダンス」は、体をしっかりと後ろに倒すことがポイントだね。僕は体がかたいから、難しかったよ。次は、力強い動きを高めるための運動に挑戦しよう。「手押し車」でどのくらい進むことができるかやってみたら、A君に勝つことができうれしかったよ。最後は、動きを持続する能力を高めるための運動だ。「かけ足跳び」をして3分間でコーンとコーンを何往復するかを数えるのだね。僕は5往復だったよ。A君は6往復だったのだった。すごいな。もっと体の動きを高める運動をして、体力をアップさせたいな。</p> <p>・今日は巧みな動きを高めるために「ダッシュ&amp;キャッチゲーム」をするのだね。このゲームは、スタートラインから前方にボールを投げて全力で走り、ワンバウンドした後キャッチするルールなのだった。やってみよう。僕の記録は5mだったよ。A君の記録は7mだから負けて悔しいな。Bさんが、前方ではなく斜め上に投げるとキャッチしやすいと教えてくれたよ。確かに、ボールが上に弾んでキャッチしやすくなったよ。Bさんありがとう。次は、パラリンピック種目の「ボッチャ」をするのだね。的に1番近く玉を投げたチームが勝つのだって。的に近い玉が多いほどたくさん点が入るのか。チームで協力して、できるだけ多くの的に玉を近付けよう。Xチームと試合をして勝ったよ。次は幼稚園児や中学生と「ボッチャ」をするのだって。楽しみだな。</p>
<b>第2次 幼稚園児や中学生と「ボッチャ」に取り組む</b> <span style="float: right;"><b>9M (3時間)</b></span>	
<b>学習内容</b> ・調整力 (知) ・仲間とのかかわり (知) ・チームの特徴に応じた作戦 (思) ・共生の視点 (態) ・スポーツの意義や価値 (態)	
<p>□ボッチャに取り組む① (3M)</p> <p>□ボッチャに取り組む② (3M)</p>	<p>・チームの中には知っているお兄さんもいるし、初めて話す幼稚園児もいるよ。一緒にがんばろうね。チームで練習する時間があるよ。よし、僕は上手に投げられたぞ。あれ、幼稚園児のC君が泣いているよ。訳を聞いてみよう。的に近くに玉がいかないから悲しかったのだった。C君の投げ方を見ると、全力で玉を投げるから、遠くに転がってしまうのだね。もっと軽く投げたらいいよ。中学生が、上に投げるイメージでやるといいと教えてくれたよ。C君、僕と一緒にやってみよう。やったあ。C君の玉が少し的に近くにいったよ。C君が喜んでくれたから僕もうれしいな。次の時間は試合をするのだね。みんなで協力してがんばるぞ。</p> <p>・ついに幼稚園児や中学生と共に試合だ。1試合2分間で、玉を投げる順番やタイミングはチームで決めるのだね。がんばるぞ。まずは、Xチームと試合だ。いくぞ。がんばったけれど負けてしまったよ。よく見ると的に離れた所にたくさん玉があるね。もっと近付けたいな。どうすれば、的に玉を近付けることができるかな。中学生は玉にスピンをかけて速さを調整していたよ。すごい。真似してみよう。幼稚園児が、投げ方</p>

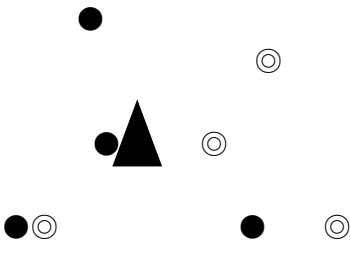
□ボッチャに取り組む③  
(3M)

は分かるけれど、できないと言って困っているよ。まず中学生が投げて壁を作ったら、幼稚園児も僕たちも安心して投げられそうだとBさんが言っているよ。いいね、その作戦。チームで協力して、もう1度Xチームと勝負だ。やったあ。作戦が成功して勝ったぞ。うれしいな。Bさんが、チーム全員が活躍できる作戦を考えてくれたのがよかったね。相手の玉をはじくXチームの作戦が気に入ったよ。僕が的に近い相手の玉をはじくから、みんなは的をねらってね。幼稚園児や中学生の仲間と運動するのは楽しいね。

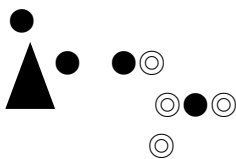
・いよいよリーグ戦だ。優勝めざしてがんばるぞ。1試合目はYチームとだ。前の時間にやった作戦をしよう。わあ、Yチームは試合終了15秒前にチーム全員が玉を投げてきたぞ。負けてしまって悔しいな。2試合目はZチームとだ。僕たちのチームは、試合終了直前によく逆転されるから、Yチームの作戦を真似してみよう。初めに中学生が投げて壁を作った後に幼稚園児が投げて、試合終了15秒前に小学生が投げよう。僕はコントロールがよくなってきたから、中学生と一緒に初めに投げるぞ。やったあ。作戦がうまくいって勝ったぞ。結果は3位で優勝できなかったけれど、幼稚園児や中学生と一緒に運動して楽しかったよ。いろいろな人と運動するっていいね。学習が終わっても、休み時間に違う学年の人とも積極的に遊んだり、パラリンピック種目の「ボッチャ」に出場する日本チームを応援したりするぞ。

※「ボッチャ」における得点の入り方

▲…的、●…Aチームの玉、◎…Bチームの玉



的に1番近い玉はAチームなので、Aチームの勝ち。  
2番目に近い玉はBチームなので、  
Aチームに1点入る。



的に1番近い玉はAチームなので、Aチームの勝ち。  
2番目に近い玉も3番目に近い玉もAチームなので、  
Aチームに3点入る。